

農林水産省北陸農政局福井県拠点からのお知らせ

北陸農政局福井県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者などの方々）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といった御要望がございましたら、直接伺って説明いたします。

御遠慮なく、お気軽に北陸農政局福井県拠点へご連絡ください。

今が旬の作物



「らっきょう」

三里浜の特産作物。3年かけて栽培される「三年子らっきょう」は粒が小さく、シャキシャキとした食感が特徴。

新着情報

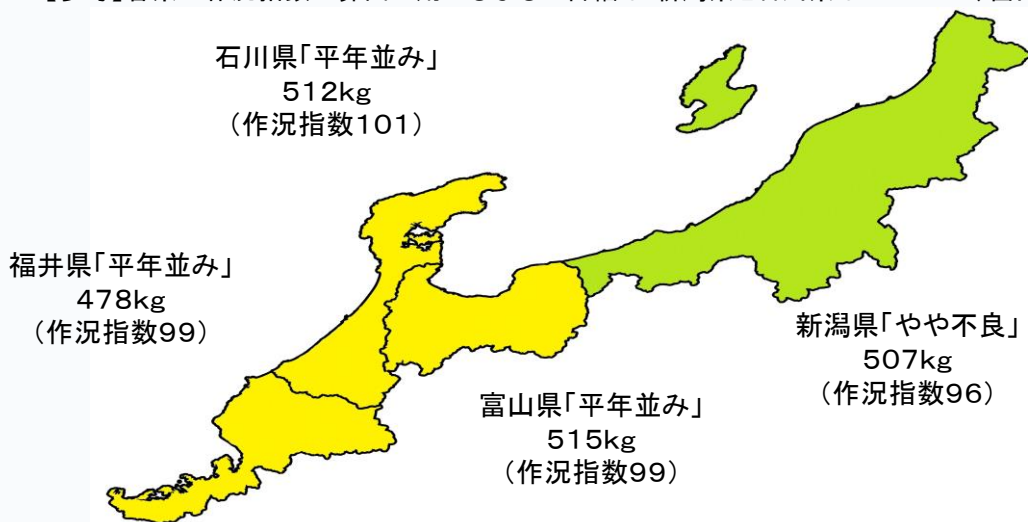
➤令和3年産水稻の作柄（10月25日現在）

【調査結果の概要】

- 10月25日現在の作柄は全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が新潟県、石川県及び福井県は「平年並み」で富山県が「やや多い」となった。登熟は8月中旬以降の日照不足の影響で新潟県、富山県及び福井県は「やや不良」7月中旬以降の好天により石川県は「平年並み」が見込まれます。
- 作柄は新潟県が「やや不良」、富山県、石川県及び福井県は「平年並み」が見込まれます。
- 福井県嶺北地域及び嶺南地域ともに「平年並み（作況指数 99）」が見込まれます。

図 県別の作柄、10a当たり予想収穫量及び作況指数（農家等が使用しているふるい目幅ベース）

【参考】各県の作況指数の算出に用いるふるい目幅は 新潟県と石川県は1.85mm、富山県と福井県は1.90mm



作柄の良否の表示区分

作柄の良否	対平年比
良	106%以上
やや良	105～102%
平年並み	101～99%
やや不良	98～95%
不良	94%以下

詳細はこちら

令和3年産水稻の作柄

検索



<https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/211109.html>

【問い合わせ先】

北陸農政局統計部 生産流通消費統計課 直通 076-232-4895

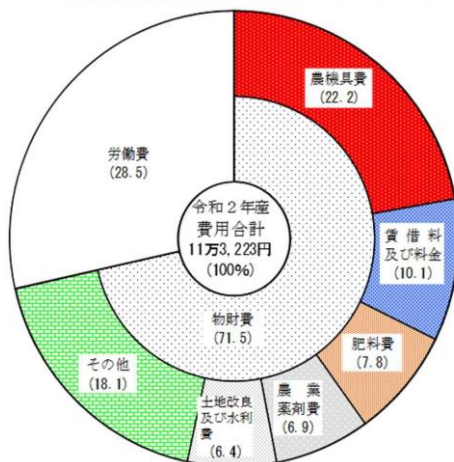
➤ 令和2年産米生産費(北陸)の概要

【調査結果の概要】

- 北陸(新潟県、富山県、石川県及び福井県)における令和2年産米の10a 当たり生産費は13 万3,659 円、60kg 当たり生産費は1万5,169 円となりました。
- また、作付規模の拡大により生産費は減少しており、5.0～10.0ha 階層を境に北陸平均を下まわり、30.0ha 以上階層では4 万3,204 円(32.3%)減少しています。

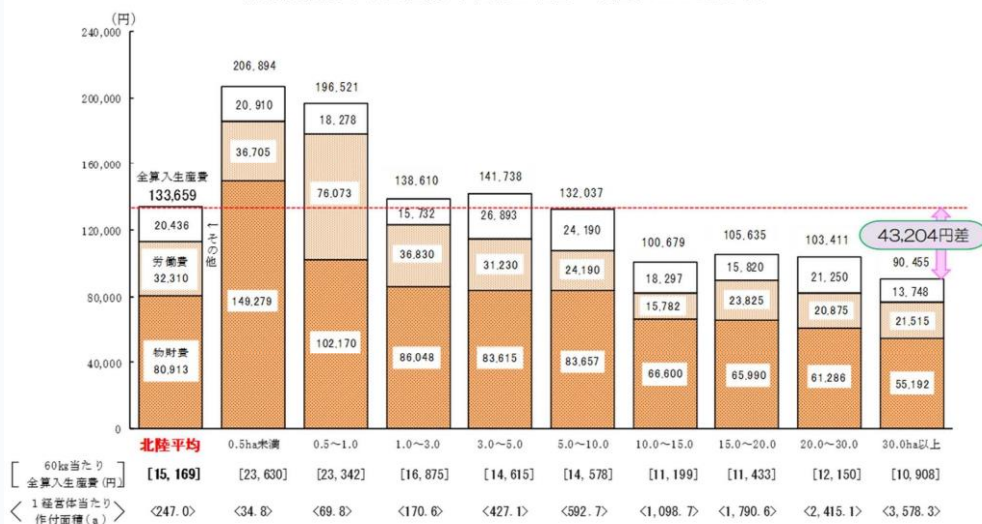
令和2年産米生産費 (北陸)				
区分	単位	実数	構成割合	
10 a 当たり			%	
物 費	円	80,913	71.5	
うち 農 機 具 費	円	25,124	22.2	
賃 借 料 及 び 料 金	円	11,443	10.1	
肥 料 費	円	8,826	7.8	
農 薬 費	円	7,811	6.9	
土 地 改 良 及 び 水 利 費	円	7,202	6.4	
労 働 費	円	32,310	28.5	
費 用 合 計	円	113,223	100.0	
生産費(副産物価額差引)	円	111,032	-	
支払利子・地代算入生産費	円	120,002	-	
資本利子・地代全額算入生産費	円	133,659	-	
60kg 当たり全算入生産費	円	15,169	-	
10 a 当たり収量	kg	528	-	
10 a 当たり労働時間	時間	21.69	-	
1 経営体当たり作付面積	a	247.0	-	

主要費目の構成割合(北陸・10a 当たり)



※ 本調査は、食用に供する目的で栽培している水稻を対象作物とし、2015 年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、玄米を600kg 以上販売する経営体(個別経営)を対象に実施した。

作付規模別の米生産費(令和2年産・北陸、10a 当たり)



詳細は
こちら

令和2年産米生産費(北陸)

🔍 検索

https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/r3_10_29.html

【問い合わせ先】

北陸農政局統計部 経営・構造統計課直通 076-232-4894



➤ 鳥インフルエンザに関する情報

- 高病原性鳥インフルエンザの侵入リスクが高いシーズンです。家畜伝染病対策を確実に実行し、発生防止することが重要です。

詳細は
こちら

鳥インフルエンザ

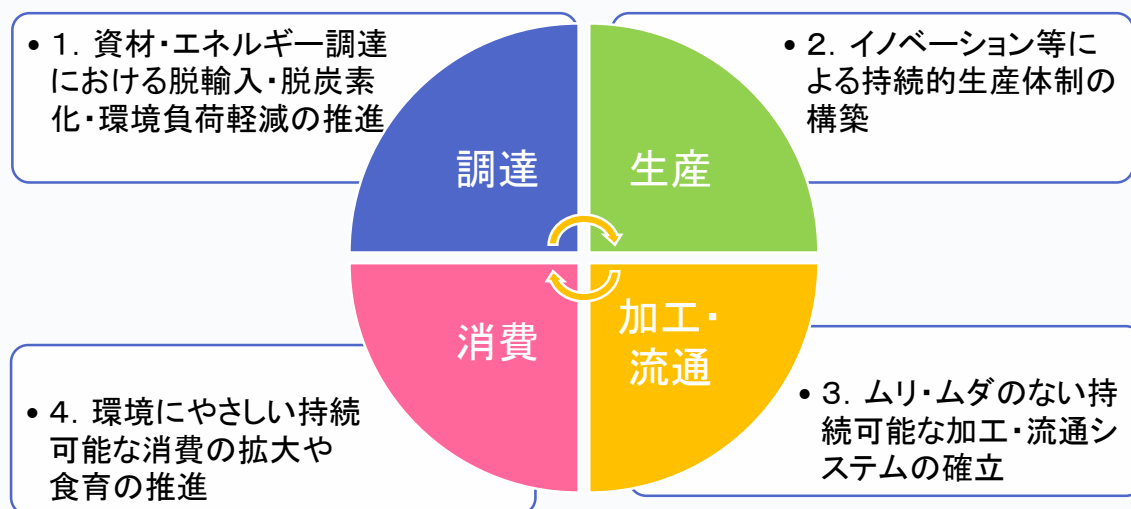
🔍 検索

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



➤ みどりの食料システム戦略を策定しました

- 令和3年5月12日、農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。
- この戦略は、2050年までに目指すべき姿として目標を掲げており、農業者、消費者、行政の皆さまが理解しながら進めていくことが重要です。
- 今回は「消費」の段階についてご紹介いたします。



消費

4. 環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進

- (1) 食品ロスの削減など持続可能な消費の拡大
- (2) 消費者と生産者の交流を通じた相互理解の促進
- (3) 栄養バランスに優れた日本型食生活の総合的推進
- (4) 建築の木造化、暮らしの木質化の推進
- (5) 持続可能な水産物の消費拡大

～期待される取組・技術～

- 外見重視の見直し等、持続性を重視した消費の拡大
- 国産品に対する評価向上を通じた輸出拡大
- 健康寿命の延伸に向けた食品開発・食生活の推進

等

- 「みどりの食料システム戦略」説明動画を公開しています。

下記URL又はQRコードからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/video.html> (説明動画)



詳細は
こちら

みどりの食料システム戦略

検索

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html> (トップページ)

➤ 災害に強い施設園芸づくり月間について

- 農林水産省では、降雪前の11月と台風前の6月を「災害に強い施設園芸づくり月間」として設定し、被害の防止に向けた技術指導の徹底と園芸施設共済及び収入保険への加入促進を重点的に行っています。
- 福井県内では、平成30年と令和3年に大雪による甚大な被害が発生しているため、被害の未然防止や万が一被害を受けた場合の補償など、日頃からの備えがより一層重要です。
- 農業者の皆様には、園芸施設共済や収入保険へ加入いただき、災害による様々なリスクに備えていただきますようお願いいたします。
- また、自然災害等への備えを点検できる「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP(事業継続計画書)」を農林水産省ホームページにおいて公表していますので、活用ください。



※気象庁データより

令和3年1月大雪
全国6地点で150センチを超える降雪
(新潟県高田で24時間降雪量103cmなど)

令和2年12月大雪
全国11地点で200センチを超える降雪
(群馬県藤原で291cmなど)

平成26年2月大雪
24地点で平年の200%を超える積雪
(山梨県甲府市で814%など)

➤ 近年、平年の2倍を超える積雪となる大雪や短時間に降り積もる大雪が発生しています。

雪による被害の様子



施設園芸農家のための

園芸施設共済



台風 大雪 大雨 竜巻 落雷 降雹

近年、頻発する自然災害は、一瞬でああなたの大切な資産を奪っていきます・・・

詳細はこちら

＜農業保険(収入保険・農業共済)＞

農業保険

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/>

検索



＜自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP＞

農業版BCP

https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

検索



あふてらす
農林漁業はじめるサイト

農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方や、これから始めたい方向けの情報を発信しています。

連絡先

北陸農政局 福井県拠点 地方参事官室

〒910-0859 福井市日之出 3-14-15

TEL 0776-30-1611 FAX 0776-30-1612